

行政視察報告書

厚生環境教育常任委員会委員長 成田 康弘

1 日 に ち	令和7年10月23日（木）
2 視 察 先	東京都三鷹市
3 参 加 者	【委員長】成田 康弘 【委員】獅子野真人、三輪 寿子、井上あけみ、石田 浩司 嶋内 九一 【市民福祉部長】金子 淳 【議会事務局】 酒井 佑
4 調 査 内 容	東京都三鷹市：高齢者支援に関する取組みについて
5 所感、主な質疑の内容、提言事項、課題等	東京 23 区の西側に位置し、北に J R 中央線、南に中央自動車走っており都心まで 20 分程で、東京のベッドタウンとしてアクセスが非常に良く、人口約 19 万人、面積 16 km²の市です。議員は定数 28 平均年齢は 52 歳 女性議員が 11 名の構成です。高齢化率は、22%で、本市に比べて 10%程低くなっています。 令和 6 年度から令和 8 年度の包括的な「三鷹市高齢者計画・第 9 期介護保険事業計画」を策定し、地域包括ケア、認知症支援、社会参加、在宅医療、持続可能な介護保険など施策を統合的に推進しており、人財確保・定着・育成にも力を入れています。 特に充実している事業の一つとして、「認知症に関する普及活動」が挙げられます。「認知症にやさしいまち三鷹」を掲げ、“認知症とともに、自分らしく生きる”社会になるよう本人主体の情報発信の創出、生きがいや役割を持てる仕組み強化など社会参加の機会を確保し、さらには認知症の人にやさしい公共施設・商業施設のユニバーサル化に加え地域見守りや情報共有による早期発見体制が確立されています。 もう一つは、「在宅医療・介護の推進拠点」として令和 5 年 12 月にオープンした施設「三鷹市福祉 Labo どんぐり山」は、3 つの機能があり ①企業や大学が在宅医療や介護研究や開発を支援、②介護人財等を育成する事業、③自立した生活を継続できる支援や家族等と一緒に宿泊して在宅介護に必要な知識と技術を学べる支援しています。 在宅生活支援の未来を見据えた「研究・人財育成・実践」の三位一体の先進施設には感銘を受けました。 本市においても、高齢者が住み慣れた地域で、生き甲斐と尊厳を持って暮らせる共生社会の実現に向けて推進しなければなりません。

6 写 真 等



※視察先 1 件に 1 枚作成すること。